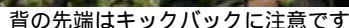


た。細い木なら三十秒もしないうちに倒してしまいます。それだけの能力のあるものですから使い方を間違えたり、整備不良にしてあったりするところでもないことになりか

森林塾通信

ねません。次回の間伐を初めて
森林塾では何回か使う機会が
ありますので、出来れば一年
間で、何とか使える程度には
なってもらいたいものです。
その時点で、仮免許をお渡し
できるかどうか、見させてい
ただこうと思っています。初
めての方はかりではありません
でしたが、次に使う時も先
生方やインストラの注意を思い
出してください。『初心忘る
可からず』ですよ。

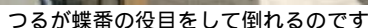
さて二日目は下草刈り。ま
ずは小屋横の市有林。背の高
いアカマツ林だったのですが
広葉樹林に誘導すべくアカマ
ツを伐採し、下層のサクラや
カエデなどを中心に残し、除



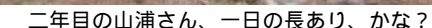
伐を繰り返しています。今年初めてサクラに花が咲いたそうですね。で何年かすると伊那市の山桜の名所になるかもしれません。楽しみです。

真夏と同じくらい暑い暑さのなか、お疲れ様でした。自分で研いだ鎌の切れ味は如何でしたか。すぐ切れる若者には手を焼きますが、切れない刃物も困りもの。職人さんの使う道具の切れ味には及ばなくとも、それなりに切れる刃物を使いたいものです。

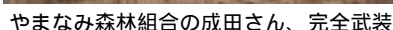
締めは来年の植林予定地の地拵え。坂野の指導による巻き落とし。本気でやると大汗の仕事ですがこれがなかなか面白い。綺麗に縞が出来た時の充実感はないかなかの「えっへん、どうだ」と自画自賛して、だから山仕事は止められないと言つ気分を味わえます。機会があればまたやってみましょう。



通年コース	
第七回 伐木造材	
6月21日(金)	
8時30分	島崎先生の山小屋に集合先生方のあいさつ、本日の予定、班分け
9時	四班に分かれ小屋の南側でなたの使い方およびチェーンソーの始動方法と使用上の注意点の説明を受ける。その後玉切りの練習。材の重心がどこにあるか考えて切ることにする。材を噛まれたら力任せに引き抜こうとせず、トビや矢などを使ってバーをはずす
10時30分	保科先生による伐倒要領の講義。正確な受け口を作ること、そしてツルをしつかり残すこと
11時10分	ちょっと早いが昼食
12時10分	歩いて伐倒の現場に。一、二班は専門コース



12時30分 班に分かれ、まずはイントラのデモ伐倒。立木の重心がどちらにむいているかを判断するのは経験も必要ですが、幹の傾きと枝張りの合計ですので慣れないうちは下げ振り（コンパスなど



についている
 錘）状のもの
 で幹の傾きを
 見極めるのも
 手かと思いま
 す。あとは枝
 張りをよく読
 むことです。
 倒したい方向
 が木の重心の
 方向でない場
 合、何らかの
 方策が必要に



涼しい尾根で先生方は休憩中。さて、どう手をつけるか、ウーン難しい



まだ草本がそれほど入り込んでいないので下刈りは楽でした



長部、成田、松田の頑張りトリオの巻き落とし

なつてきます。一人一本は倒せたよう

3時 荷物を持って小屋に戻る。班ごとに、チェーンソーのメンテナンス、刃の研磨

4時 終了

第六回 下草刈り

6月22日(土)

8時30分 島崎先生の山小屋集合。先生方のあいさつ。本日のオリエンテーション

8時40分 山小屋横の市所
有山林での樹木分類。将来的に広葉樹林に仕立て

ようとしている場所。

山桜を中心とした林で中を散歩できるようにと考えている。現在四種類の桜がある

9時 保科先生からカマの研ぎ方指導。注意点はカマの刃に手を沿わしてケガをしないように。

各自カマと砥石を持って、鳩吹公園の中を流れる小川の横でカマ研ぎ

9時20分 先ほど樹木分類の説明を受けた小屋西の林で下草刈り

10時15分 一時間ほどの作業後、再びカマ研ぎ。

10時30分

分乗して五月十日に植林した伊那市西春近の真向沢地籍にある下殿島区有林へ

11時15分 現場に到着、昼食。

12時10分 下草刈り、地ごしらえ組のA、B班に分かれる。下草刈りは以前に植林した場所。

地ごしらえは坂野氏から巻き落としの説明。まず最初に等高線になるように杭を打つ。杭は現地調達。

刈った灌木をクルクル巻きにして斜面に落とし、縞を作る。注意点として、岩や切り株の障害物があるときは橋を架けておく。

地ごしらえは丁寧にすること。そうすれば後の植林、下草刈りが楽になる



公園のせせらぎが田んぼの小川に早変わり、並んで鎌を研ぐ



山仕事の楽しさを全国に広めましょう

次回以降の予定

専門コース第二回開催

7月4日(木)～6日(土)

間伐の続きをおこないます。前回の現場を使う予定です。重心と逆方向に倒したりすることも多くなります。各自の判断により倒し方を決めてやってみたいと思います。8時30分島崎先生の山小屋集合。必要な道具とお弁当も忘れないでください。多少の雨ならやりますので雨具も必携。

川さん、塙さん、洲上さん、松田さん、宮沢さん、山下さん、山田さん、和辻さん、風見さん、長坂さん、桃澤さん、山浦さん、講師/保科先生、島崎先生、スタッフ/石原、大野、川島、後藤、椎原、中村、平林、藤原、坂野、此村、早川、取材/チルチンびと

第七・八回 間伐

7月19日(金)20日(土)

保残木マーク法による間伐をおこないます。筆記用具、電卓も要ります。8時30分島崎先生の山小屋集合。担当は一日目島崎先生、二日目は保科先生。

もう通年コースも中間点になります。19日の夕方から暑気払いをしましょう。実費必要(千円くらいかな)翌日も間伐の続きがありますのでほどほどに。

集中コース夏の部

8月1日(木)～3日(土)

樹木分類、測樹から伐木造材、間伐、できれば伐出まで募集開始しました。7月9日募集締め切り

リレー通信

夢の地を求めて
斉藤 満

こんにちは、今回リレー通信を書きます斉藤満です、よろしく。

自己紹介 昭和三十七年生まれ、もうすぐ四十歳、妻、子供が男の子六歳、女の子二



歳の四人家族です。仕事は、金属加工業、カメラやパソコン、携帯電話の部品を製造している中小企業です。

趣味は料理とスポーツ観戦で、料理は、ハンバーグと餃子が得意です。スポーツ観戦は、もっぱらテレビで見て熱くなる事です。野球は中日ドラゴンズ、二十五年來の大ファンです。長野県に来てからは、テレビで放映が少なく、それにスポーツニュースや新聞では、パリーグと同じ扱いで悲しい。今年は優勝です。

写真も好きです。二十年前くらいやっています、今は少しお休み中です。

現住所 駒ヶ根市東伊那は、島崎先生の山小屋のある伊那市より、南東に約十キロ、天竜川の東側に位置します。東伊那は日本で、三、四番目に日照時間の長いところで、お米も、野菜も、果物も大変美味しいところです。特に僕のお勧めは、夏に採れるスイカです。以前はスイカが嫌でしたが、東伊那スイカを食べてからは、夏になるのが待ち遠しい。農家の人に聞くと、朝晩の寒暖の差がスイカを美味しくさせるのだといっていました。

の嵐でした。

エターン 現在暮らしている駒ヶ根市には三年前にエターンでやって来ました。以前は名古屋市内に住んでおりましたが、長男の喘息とアトピーを治したくて、この地に来ました。名古屋では、医者から飲み薬や塗り薬をもらっていました。治る気配もありませんでした。子供の将来を考えると心配になり、僕達夫婦は苦勞しても、子供が健康でいてくれれば良い。それで、田舎暮らしという本で、駒ヶ根市の移住者募集を見て、移住を決めました。長男は元気で、保育園に通っています。

田んぼの会 地元のお年寄りとい、Uターン者で作る会です。米作りを通して、交流をして、漬物作りややら細工などを学び、田植え、草刈り、水田の管理、稲刈り、最後に収穫した米や野菜で料理を作り、楽しく交流をする会です。うちの子供達も農作業に参加して、泥だらけになりながら田植え、稲刈りを楽しんでいます。

家 東伊那に土地を去年買いました。そこに今年十月末着工で来年四月上旬に完成予定で家を建てます。木造二階建て、予算が少ないので木をふんだんに使うことは出来ませんが、内装には、床はアカマツ材のフローリング、壁は漆喰にする計画で進めています。子供のことを考えて、なるべく天然素材を多く使った家を作りたいと思っています。長男は自分専用の砂場と滑り台を作るといって楽しみにしています。

家が建てるにあたり、いろんなハウスメーカーや工務店に、国産材と外材の事を聞いていくと、国産材は高い、外材は安いというのです。僕が調べると、国産材は原木は安い、製材に手間がかかる、切り出しに手間がかかる、とか、輸送コストが高いとか、人件費が高く、結果国産材は高いとわかった。反対に外材は、原木は高いが流通コ

ストが安いので、結果安いとわかった。でもなぜ近くに山がある長野県なのに、見向きもしないことに悲しく思っています。

家には、薪ストーブが、ベチ力を入れるので、近くの山で間伐されてそのまま放置されている木を見ると、僕には宝がゴロゴロ落ちているようにこのころ見えて、あれを薪にしたらと思う、山主に頼んで、分けてもらおうと目をつけています。

KOA森林塾 初日の植林の作業で皆さん(通年コース生、インストラクター、先生)とお会いしました。卒業生の太田さんが言われたのと同じ感じが違うように初めは思いましたが、自己紹介のあたりから、酒が入り始めると皆さんの顔がにわかに変わり、話にも花が咲き、島崎先生の歌、ハーモニカ、早川さんの歌など楽しい時を過ごせました。これが本当の森林塾なんだと、これが集まった人々のこの森林塾にかけの思いなんだと感じました。

次は講習から、早くみんなに会いたい、また終わるとその次の講習が待ち遠しくて待ち遠しくて、妻が「今日は、すごく楽しそうに顔しているね」とちやかしします。

森林、山造りの事と、友人作りをこの塾で学びたいと思います。よろしく願いします。

環境 この伊那谷でもいきたるに、不法投棄のゴミが年々目立つようになりました。僕達の手で、山を森林を整備して、不法投棄を無くし、そして間伐された木はそのまま放置するのではなく、ペレットにしてストーブや風呂などに使えたいと思いが、僕の考えは、例えば、間伐材でパソコンを作る、カメラを作る、内部の小さな部品から外部のフレームまで、あと板材にしてそれをパイプの様にして自転車や物干し、

改めまして、僕が、小山寛弘(コヤマアキヒロ)といいます。今年からの参加で、埼玉県志木市から来ています。自分は今、東京農業大学の学生で、地域環境科学部、森林総合科学科の二年生です。森林を総合的に学びたいので、色々な方面から勉強をしています。環境問題、植物の

工場の足場にするとか、そんなことが将来は出来ると思います。出来れば良いです。そうすれば、林業も環境も森林も良くなるのではないのでしょうか。

将来の夢 自分の力で米を作りたい。そして美味しいご飯を食べたい。麦も作りたい。パンを石窯で焼き、食べたい。山を借り、山造りをしたい。そして子供と一緒に作業をして、親子で楽しみたい。

皆様よろしく願いします。

名前・特徴、木の組織について、木の主成分であるセルロース・ヘミセルロース・リグニンの抽出実験、緑化の仕方などなど。教室、紙の上での勉強をないがしろにする気は無いです。でも、実際に山に入って植物、キノコ、山菜など手に取って見たり、触ったりした方が良く、木の組織も、材を加工しながら学んだ方が勉強になるはずで、す。チェンソー、のこぎり、鉋(なた)の使い方、木の測り方なんかは、本物の木を相手にやるのが一番です。一応、農大には奥多摩に演習林があります、キャンパスが世田谷にあるという事は、なかなかそれが望めません。(他の大学に比べると、多いようですが...) そんな時、本屋で古民家生活術なる本を見



カナダで山仕事
小山 寛弘

^ KOA に至った経緯 ^

つけ、その本の中で森林塾を見つけた訳です。

▲自然に興味がある訳▼

そもそも人は、(たとえば鳥・熊などが、自然の中で暮らすのと同じ様に)海・山など、自然の中で暮らしてきた訳です。そういった、もともとの生物としての生き方をすべきだと思ふのです。いや、むしろ普通な事です。そういった所から自然に興味を持ち、今のような勉強をしています。

▲夢▼

近い将来、(全てを原始的な生活で、という事ではありませんが)元々の人間らしい所を残しつつ生きていけるような、林業とか農業とか、そういった自然に関われるような事をして生活できれば、...と思っています。

けれども、現在の日本の林業では、食べていけない、仕事として成り立たない。それに、農業・林業は、実家が山・畑を持ってないと、自分の代から始めるのは難しい。だから、



ら、林野庁に就職するとか、山造りが出来るように腕を磨いて、山の持ち主のところで働かせてもらうとか、色々考えています。

あと、日本において林業では、食べていけないという事から、それなら外国ではどうだろうと思ひ、木材やパルプの生産で有名なカナダが浮かびました。カナダでなら(専業で)林業をしながら、山暮らしをやっていけるのでは...、そう考えたら、もう移住するしかない!!というような勝手な妄想にふける毎日です。

余談ですが、カナダの一番の魅力はオーロラだと思ひます。これが、どうしても行つて、見たいのです。(できれば、見ながら暮らしたい...)オーロラといえば、自然の美しい三大現象の一つで、あとダイヤモンドダストと...忘れました(誰か教えて下さい)。そのうち、カナダでは二つも見えるのです!!いい国ですよね。誰かカナダ経験のある方がいましたら、お願い致します。

▲編集後記▼

リレー通信の順番がついに廻つて来てしまいました。森林塾通信一、三号に載った方達を読んでみると、内容は興味深いく、たくさん書いてあります。頭を抱えてしまいま

た。何を書いたらいいのか、散々考えました。結局は「自分分は、自分!他人は、他人!」と改めて思い直して、何とか書き始められたのですが、遅れて本当に申し訳ありません。

▲P・S▼

同じ市に住む二年目の塩谷さんの家に、この前、パイ(ピザの配達)で行つて来ました。今年はあまり参加できなかつたのですが、面白いお話をたくさん聞けそうなので、とてもいい方でした。

まだまだ、みなさんよりも経験が浅く、知らない事だらけです。KOAに来ていろいろ、誰と話しても知らない事だらけで、とても勉強になり、楽しいです。僕にとつて、みなさんの話は宝の山です。自分の現在やっている活動、夢、自然について語りたい事などなど、何でも聞きます。是非お願いします。これから一年間よろしくお願い致します。

イベント紹介

セルフビルドフォーラム

inハケ岳が「家づくり」に山の風」と題して7月14日(日)富士見町葛窪区にておこなわれます。基調講演は有賀製材所代表の有賀進さん、その他シンポジウムや家づくり実例見学など。参加費千円。問い合わせ、申し込みは通

年コース塾生の下平さん「E&F&G(0266-62-6122)まで

コラム

小学校の頃図工の先生が版画の時間に「切れない彫刻刀ほど手を切るぞ」といつていたのを覚えている。当時、切れないのになぜ手が切れるんだらうと思つた。先生は切れないから力で切ろうとして力を入れてるとあらぬ方向に刃物が飛んで、けがをするといつた。なるほど。思えば、切れない刃物はろくなことがない。カッターナイフでは仕上がりが悪いし、包丁は、だいたい気分が悪い。

旋盤もフライス盤も切れないといふ仕事はできないしやつぱり気分が悪い。動力機械では熱で刃物も参つてしまふ。刃物は思いやる気持ちと必要な注意を払つて使う物のようだ。

ある本で、「道具は心で使え」と書いてあった。丁寧な手入れと思ひやりのある使い方、刃物はそれに答えてくれると思ふ。まずは道具を知ることが。

鎌の刃はどのぐらいもろいのか。厚さは。砥石はどんな種類がある。弱点は。製造者(鍛冶屋)による個性はどう?硬いがもろいか。けつこう硬いけど欠けにくい。いいなあ。これで楽しい仕事ができる。道具も大切なかわいい物になる。

仕事そのものと、刃物の手入れ。これは表裏一体という気がしていたがこのごろでは替え刃式の工具も増えてきた。少し寂しい。先日ホームセンターで替え刃式のみを見た。のみの刃は使い捨て?近くにかななの替え刃式もあった。そんな馬鹿な。おおいに寂しい。刃物職人はどうなの。使い捨てでいいならそういう焼き入れしなさい。でも、刃物の手入れの熟練をクリアしなくても仕事そのものはできるようにしたといえる。でもなあ...本当は森林塾のように手入れの楽しさから入れるといふ。

今日は、鎌の切れが悪かつた。といふことは研ぎがわるい。今日は短時間の作業だったが長時間切れ味が持つた。また研ぎの善し悪しの差が出ると思ふ。研ぎがうまくできたらすくいい。先日店で鎌を手にとつて見ていたら手を切つてしまい血が止まらず焦つた。しかし切れる刃物でのがは治りも早いようである。やはり刃物は切れるほうがいい。そして手入れして長く使える刃物を大切にしたいと思ふ。「カブ夫」

レポート

ところで昨日は下草刈りで「まつおつじ」というきのこをはじめて採り、保科先生に「煮物に」と教わつて持ち帰りました。洗つてみたらたく

さん虫が入つていて、柄の部分だけが食べられそうでした。とてもしっかりしているし香りも強いのでごはんにしてみました。まつおつじはんです。香りは松のようなさわやかな感じで、食べた感じはしっかりと歯ごたえがマツタケのようでした。おいしかったです。でも味見に少し持つていった実家の私の父は「煮物にしたい」といつていました。

ひとつお分けした後藤さんはすき焼きにしたのでしようか...あまり採れないきのこということで、早川さんも食べたことない(?)ようでしたので、マツオウジレポートでした。「成田K」

編集注・このきのこはアルコールとは相性が悪いそうなのでご注意ください。生や食べすぎにも注意

おわりに

森林塾で使つた現場はきれいに山主さんにお返しします。薪ストーブ用などで材必要な方、ご連絡ください

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、ご要望、事務局まで。

TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994

E-mail:
ki-hayakawa@koanet.co.jp
sh-sakano@koanet.co.jp
mi-tsuboki@koanet.co.jp
携帯:0902-53-26375 (開催日)
H.P.http://www.koanet.co.jp

